**高次脳機能障がい支援連携ツール作成について（案）**

１．目的

各機関間で高次脳機能障がいのアセスメント内容の共有を図りやすくするため、個人の障がい特性を把握する連携ツールの作成を目指す。医師をはじめ、セラピスト、福祉、就労機関等の多職種によるワーキンググループを設置し検討を行う。

２．内容

　（１）アセスメントシートの作成

　　当人の状態像を把握するため、高次脳機能障がいの症状をチェックするツールの作成。

（２）連携に必要な情報を記入する様式の作成

基礎データ（氏名、生年月日、発症日、疾患名、手帳の有無など）

　　補助データ（アセスメントシートでの得点、医療情報、就労情報など）

３．活用方法

情報提供に対して本人の同意を得たものを、各機関へ移行時に情報提供資料として使用する。

４．ワーキングメンバー一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏名（敬称略） | 所属 |
| 1 | 渡邉　学 | 大阪府立急性期・総合医療センター |
| 2 | 石橋　佳世子 | 特定非営利活動法人おおさか脳損傷者サポートセンター |
| 3 | 橋本　務 | 医療法人大植会　葛城病院 |
| 4 | 俵　あゆみ | なやクリニック |
| 5 | 増田　基嘉 | 堺市立健康福祉プラザ　生活リハビリテーションセンター |
| 6 | 斉喜　祐輔 | 泉州中障害者就業・生活支援センター |
| 7 | 辻　寛之 | 就労移行支援事業所　クロスジョブ　梅田 |
| 8 | 奥田　真 | 社会福祉法人豊中きらら福祉会　第２工房「羅針盤」 |
| 9 | 石原　明美 | デイサービス　ことばの泉 |